

原田英代 ピアノ・リサイタル

第5回

〈光〉

～最終回～



©Uwe Arens

2022

3.11 〈金〉

19:00開演 (18:15開場) Hakuju Hall

入場料 全席指定 4,500円(税込)

出演 原田英代 (ピアノ) Hideyo Harada, piano

主催: Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所
協カ: 朝日カルチャーセンター新宿教室

◆ プログラム ◆

- シューベルト: ピアノ・ソナタ 第21番 変口長調 D.960
- ラフマニノフ: 「13の前奏曲」 op.32より 第10番 口短調
: 「10の前奏曲」 op.23より 第4番 二長調
: 絵画的練習曲「音の絵」 op.39より 第7番 ハ短調
: 「楽興の時」 op.16より 第6番 ハ長調
- スクリャーピン: 「12の練習曲」 op.8より 第11番 変口短調
: ピアノ・ソナタ 第5番 嬰へ長調 op.53

◆ チケットお申し込み ◆

● Hakuju Hall チケットセンター 03-5478-8700 11:00~17:00 (火~金 ※祝日・休館日を除く)

オンライン
チケット予約



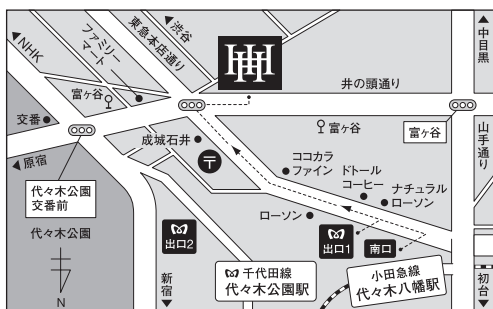
<https://www.hakujuhall.jp>

◆ チケット購入はこちらから! ◆

● ローソンチケット <https://l-tike.com/> ● イープラス <https://eplus.jp>

先行発売日 2021年12月4日(土)

一般発売日 2021年12月11日(土)



〒151-0063
東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5
TEL 03-5478-8867

〈電車〉
● 代々木公園駅(千代田線)
出口1より徒歩5分
● 代々木八幡駅(小田急線)
南口より徒歩5分

〈バス〉
● 「富ヶ谷」バス停下車
徒歩1分
(渋谷駅西口バスターミナル
より10分)
渋谷63(中野行)、渋谷64(中野行)
渋谷66(阿佐ヶ谷行)、渋谷69(笹塚循環)



LINE 公式アカウント はじめました!

主催公演の先行発売をご利用いただけるほか、ホール情報をいち早くお届けいたします。



原田英代 ピアノ・リサイタル 第5回 〈光〉～最終回～

2022 3.11 〈金〉 19:00開演 会場 Hakuju Hall

ドイツ音楽とロシア音楽による「人生ドラマ」最終回のテーマは『光』です。人類は常に自由と平和を求めて闘いを繰り返してきましたが、未だに人間同士の争いは終わらないどころか、ますます差別感情が増えています。世界が一刻も早く闇から抜け出し、光の中に入っていただけることを願って、このシリーズを完結したいと思います。

前半はシューベルトのソナタ第21番です。孤独の中で生きたシューベルトだからこそ、無条件の愛がどれだけ有難いかわかっていたのでしょう。彼の音楽は一人一人に寄り添い、自分の犯した過ちを受け入れて生きていく力を与えてくれます。特にこのシューベルトの最後のソナタから



©Uwe Arens

は、孤独な魂は闇を受け入れてこそ光に向かうことができることを伝えてくれるのを感じます。後半はラフマニノフ、スクリャービンの作品です。兩人ともロシアの抒情性に満ちた音楽から出発したものの、ロシアの世紀末を経験しなければならなかった彼らは、やがて全く異なったスタイルの音楽を生み出していきます。不穏な時期を身をもって体験した二人の芸術は、それぞれのオリジナリティで先の見えない闇の世界に光を投げかけてくれました。スクリャービン生誕150年にあたる2022年、超越的な世界に目覚め、文字通り世界に光を放つことをめざしたスクリャービンのソナタ第5番で締めくくりたいと思います。

原田英代

原田英代 (ピアノ) Hideyo Harada, piano

東京藝術大学、同大学院を経て渡欧し、メルジャーノフに師事。ジュネーヴ国際コンクール最高位、シューベルト国際コンクール優勝、ラフマニノフ国際コンクール入賞。ケルン放響、スイス・ロマンド管、南西ドイツ・フィル、N響、読響等と共演。ラインガウ、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン、ヴェルツブルク・モーツァルト等の主要音楽祭に定期的に出演。2012年明治天皇百年祭での奉納演奏が話題となる。アウディーテよりCD4枚をリリース。著書『ロシア・ピアノの贈り物』（みすず書房）や、『こころ』（平凡社）への寄稿等の執筆活動、ロシア・ピアノの継承者としてレクチャーコンサート等にも精力的に取り組んでいる。ベルリン在住。

ご購入時の留意点

- 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、公演中止・延期及び発売日が延期となる可能性があります。また、感染症防止の観点から、座席配置や販売席数等、状況に応じた対応をとっております。座席指定のご希望に沿えない場合や席移動をお願いする場合がございます。
- 座席は通常配席となっております。前後左右の間隔は空いておりません。
- 公演が予定通り開催された場合の払い戻しはいたしかねますので、ご了承ください。
- 最後列 Q 列はリクライニング席となります（料金は変わりません）。
- 出演者・曲目・曲順等の変更に伴うチケットの払い戻しはいたしかねます。

- 一度ご予約・ご購入いただいたチケットの変更、キャンセルはできません。
- 未就学児の入場はご遠慮下さい。
- 車椅子でご来場のお客様はあらかじめHakuju Hallまでご連絡下さい。

ご来場のお客様へ

- ご来場に際しまして、ホームページに掲載のHakuju Hall感染症予防への取り組み（Hakuju モデル）をご一読いただきますようお願いいたします。
- ホールに駐車場はございません。

HAKUJU 株式会社 白寿生科学研究所は、音楽を通じて“ゆとりある精神”を実現する場を提供いたします

朝日カルチャーセンター
新宿教室との提携講座

原田英代レクチャー

ロシアの巨匠ヴィクトル・メルジャーノフの愛弟子として学び、ロシア・ピアノを継承する数少ない日本人ピアニストである原田英代。レクチャーでは、原田自身によるトークとともに、映像資料を駆使しながら、「時代精神の影響を受けて—シューベルトのソナタ形式とロシアの世紀末—」をテーマにシューベルト、スクリャービン、ラフマニノフについて取り上げます。

2022

3.8

〈火〉 16:00開始 会場 朝日カルチャーセンター新宿教室（東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル10階）

講座受講料 朝日カルチャーセンター会員 3,718円(税込) ※入会金は5,500円(税込)、70歳以上は入会無料、証明書が必要です。 一般 4,818円(税込)

講師 原田英代 (ピアノ) お問い合わせ 朝日カルチャーセンター新宿教室 03-3344-1945 10:30~18:30(日曜・一部税日を除く)

時代精神の影響を受けて—シューベルトのソナタ形式とロシアの世紀末—

1 「ベートーヴェンの後で何ができるか」というシューベルトの言葉は、明らかにベートーヴェンのソナタ形式を意識してのものでした。ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンによって確立されていたソナタ形式は、ウィーン生まれのシューベルトにとっても当然マスターしなければならぬものですが、もともとリート作曲家である彼にとって、独自のソナタ形式を見出すのは楽なことではありませんでした。数々の未完のピアノ・ソナタがそれを物語っています。階級の対立から市民の時代に移行しようとしていたウィーンで、彼は暗中模索を繰り返しながら、ついには自分のソナタ形式を生み出します。その様子を、時代の背景とともに探ります。

2 スクリャービンとラフマニノフは、少年期より名伯楽ズヴェーレフのもとでピアノを学んだ同僚でした。またモスクワ音楽院では兩人ともアレンスキーのもとで学びロシアの香りの濃い抒情性に満ちた作品を書いていたにもかかわらず、やがて二人は全く違う音楽家に成長していきます。時代は世紀末に生を受けた二人が、不穏な時代にあって、どのように異なった道を見つけていったか探ります。 原田英代